

医療最前線

言語聴覚士の仕事とは？①



言語聴覚士 向井一将

り、略して「STさん」などと呼ばれることもありその仕事内容は、言語聴覚士としての業務について障害を持つ患者さん、聞こえない患者さん、聴覚障害を持つ患者さん、他の方からすると一見ただけでは分かりづらいところも、理解されにくいところもあります。言語聴覚士は、そのような患者さん、その不安な気持ちに寄り添って、患者さんやご家族と一緒に、おいしい物を食べるといふ当たり前にある人々の楽しみを再度獲得するための回復を目指す手助けを行っています。

【言語聴覚士の歴史】
言語聴覚士は、リハビリテーション領域の本初の本物の聴覚障害教育が、1997年12月に国家資格化され、1999年3月に第1回の国家試験が実施されました。これに対して、同じリハビリ職の理学療法士・作業療法士については、1965年に法が制定され、1966年に第1回の国家試験を実施しています。国家試験の歴史としては、30年以上の差があります。

【言語聴覚士について】
言語聴覚士という名前前からみなさんはどういう仕事を思い浮かべますか。「言語」「聴覚」とあるので「話すこと」「聞くこと」とは想像がつくと思いますが、英語では「Speech Hearing Therapist」と表記するこの職種は、話すこと、聞くこと、食べることにリハビリテーション専門職である誤嚥性肺炎という

病気になる患者さんの機能回復を支援することが多くなっています。このような、話すこと、聞くこと、食べることに障害を持つ患者さんは、他の方からすると一見ただけでは分かりづらいところも、理解されにくいところもあります。言語聴覚士は、そのような患者さん、その不安な気持ちに寄り添って、患者さんやご家族と一緒に、おいしい物を食べるといふ当たり前にある人々の楽しみを再度獲得するための回復を目指す手助けを行っています。

【言語聴覚士の歴史】
言語聴覚士は、リハビリテーション領域の本初の本物の聴覚障害教育が、1997年12月に国家資格化され、1999年3月に第1回の国家試験が実施されました。これに対して、同じリハビリ職の理学療法士・作業療法士については、1965年に法が制定され、1966年に第1回の国家試験を実施しています。国家試験の歴史としては、30年以上の差があります。

しかしながら、言語聴覚療法そのものの歴史はもともと古く、1878年、京都盲啞院（日本で最初に設立された、障害を持つ児童・生徒のための教育場）が開設され、日本初の聴覚障害教育が始まっています。言語聴覚、音声、言語障害のリハビリテーションが開始されました。その後、1960年代頃からリハビリテーションに従事する専門職種の国家資格化が進められていきましたが、急速な高齢化社会の到来を迎え、言語聴覚士の必要な国家資格化が必要であるということが、1997年12月の国会で言語聴覚士法が制定されたのは、先に記した通りです。

向井一将